

山 ゆ り

7 - 8 月 号 No396 2021 年 7 月 1 日

初号発行: 1972 年 12 月 25 日

山ゆりの会

年会費 1000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒242-0026 大和市草柳 1-3-201 草野正昭

Tel/Fax: 046-260-6515 メール: VZM03024@nifty.com

URL : <http://yamayuri.d.dooo.jp/>

5 月山行報告

■ 5 月 23 日 : 三輪緑地と 鶴見川ウオーキング

参加者 : 稲本 遠藤 小野寺 加藤 曾根
名須川 香取 西村 神保 松田
草野 (11 名)

● 小田急線鶴川駅 9 時半 11 名が集合、出発後すぐ踏切を渡って鶴見川に出る。早速カルガモの親子に出迎えられる。鶴見川を渡ると三輪の新しい住宅街が広がる、住宅

街を抜けると本来の谷戸と農家のある三輪の里の風景に変わる。里山の風景はなんとなく落ち着く。間もなく西谷戸横穴古墳群に、崖の中腹に 9 基の横穴古墳がならんでいる。7 世紀ごろのこの地域の有力者のお墓だという。

このあたり一帯には 100 基以上が発掘されているらしい。ここから次の横穴古墳の玉田谷戸横穴古墳を目指す。谷戸のあちこちの水田で田植が始まり、周辺はますます三輪の里山らしい風景に、子供たちの田植も見られる。このあたり横浜市と町田市の境界で寺家ふるさと村の谷戸はすぐとなりだ。

山道に入るとまもなく玉田谷戸横穴古墳群に到着、この横穴古墳は最初の西谷戸の横穴古墳と違って、まったくの山の中にあって規模も小さい。

次に三輪の里ビジターセンターを目指す。あいにくコロナのため当分休館、中の休憩室が使えず駐車場で十分すぎるソーシャルディスタンスとやらをとって昼食休憩。



5/23 : 鶴見川ウオーキング



5/23 鶴見川ウォーキング

をくり返すスリル！（のはずは、ありません）横穴墓所、ずらりと並んだお地蔵様（干支とコラボしてました）、イベントだけど田植え風景、鶴見川では1ダースの子連れカルガモ母さん・・・ちいさな出会いや発見も楽しさが11倍に膨らんだ一日でした。そんないつもの山ゆりですが、前

やはり昼食ぐらいもう少し密になってとりたいですね。

昼食後は鶴見川土手に出て田園都市線の市が尾駅に向かう。3時前に市が尾駅到着解散。

コロナ禍の日々、日ごろの会話不足、運動不足を少しは解消できた一日でした。感染防止はこれまでとうり自己責任でしっかり対応するも、自粛自粛で委縮せずふるって参加ください。（MK）

●今年に入って「緊急事態宣言」や「まん延防止・・・」が出ていない時期ってあったのかなあ？と近頃わからなくなっています。そのような日々のコース選び、リーダーには頭の下がる思いです。毎月、顔を合わせることに意義がある！そうですね、安否確認もありますしね。

今回の三輪緑地は寺家ふるさと村のお隣ですが、初めて聞く場所。比較的近くで里山歩きができるなんて嬉しい限りです。町田・川崎・横浜の市境を出たり入ったりのエリア。「まん延・・・」の下では、密入国

回までとは違うことがひとつ。コロナ禍（変異株）を意識したお弁当タイムで、屋外でもソーシャルディスタンスの下に「個食」・・・何だか淋しい。

お疲れ様！のビールを堂々と飲める日が、早く来ないかなぁ。（加藤英子）

■6月20日：

開成町アジサイウォーキング

参加者：稲田 稲本 豊田 小野寺 曾根
浜田 浜田 西村 松田 草野(10名)

●開成町の6月はアジサイとハナアオイのシーズン。週間予報では雨の予報が曇り空で時々日の差す歩くには丁度いい天気でした。

小田急新松田駅9時集合に10名が参加、新松田から酒匂川を渡り開成町へ、開成町のウォーキングマップには所々にコースを示す看板があり、それに沿って歩く。アジサイは最盛期を少し過ぎてはいるがまだ十分見られる。

コロナ化で今年のアジサイ祭りは中止、そのせいか歩いている人は少ない。

酒匂川が近いせいか水路が豊富にあり途中水路を利用した小水力発電所は脱炭素にも環境にも優しい優れモノだ。小水力発電は灌漑用水を利用できるので日本の地域電力としてもっと普及してほしい。

ハナアオイの方は最盛期を過ぎてしまっていてもう1~2週間早い方が良かったかもしれない。

帰りは一駅先の開成駅まで歩いて2時30分ごろ解散。(MK)

●山ゆり尾瀬山行の3日後に登った、岩手山のレポートで、尾瀬の後日談です。

2019年の山ゆり尾瀬山行の3日後に、秋田駒ヶ岳と岩手山に行きました。岩手山は初めてだし岩が多そう。信頼出来る靴で行きたいが、気が付いたらその靴、底を張り替えてから久しい。修理に持って行ったら1ヶ月はかかるとか。う〜ん、待てない、見た感じでは剥がれそうもないし、え〜い、行ってしまえで、1日目の秋田駒ヶ岳では靴に異常はなし。なんだ、取り越し苦労かー。しかし次の日の岩手山の登りで……？何となく……変と思ったら、あっという間に底から靴が浮いてきた。まさか？やっぱりー。

数日前の尾瀬山行で、私の前を歩く〇〇さんの靴底がスローモーションのように、みるみる浮いてきた光景が甦る。ウッソー？ 大変だ！応急手当として、とりあえず結束バンドで靴をぐるぐる巻きにし、岩



だらけの道をようやく登りきり、小屋に到着。さて用意してきた「靴底キット」で手当て。尾瀬でのことがあるのであらゆる物を用意していた。結束バンドは束で、厚手のタイツやストッキングを裂いて、太いや細いのと、種類の違う三つ編みの紐も沢山作って来た。テーピング用のテープも駆使して靴を補強し、ともかく明日はこの靴で下らねばならない。修理していると、暇そうな小屋のおじさんに「あーだこーだ」と助言され、しっかり楽しまれた。おじさんも、こんなに見事に剥がれたのは見たことが無いらしい。そう、この小屋、避難小屋なのにおじさんが居る。ほんの少し先の避難小屋は無人だが、この地方？は夏の短い間だけ、こんな風に管理人が入る小屋があるのだそう。

ここでは素泊まり代の他に毛布を借りることが出来るのでとても助かる。この夜は登山客は私たち2人だけ。そしてこの夜、小屋番のおじさんに慰問客が訪れた。2人で酒盛りが始まったが、来客はどうも酒グセが良くないらしく、クダを巻いた挙げ句にやっとな寝たと思ったら、イビキ、歯ぎし

り、寝言に雄叫び、ついでに「ブー、ブー」。何ともひとりで賑やかなこと。「尾瀬での、イビキや寝言で真夜中に動物園みたいだった」、というのを思い出して笑ってしまった。

翌朝はガスがかかって何も見えない。ヤレヤレ、なかなかの悪天候。久しぶりに上下完全雨具装着で下山したのだが、全身ズブ濡れ。ひと気の無い東屋で着替えて、しぼった衣類からは面白いほどの水の量。そう、剥がれた靴のことですが、お陰さまで何とか下山口まで保ちました。そして、白テープや結束バンドでぐるぐる巻きの泥靴のまま新幹線で3時間。日差しのまぶしい東京駅に降りた時、この靴では恥ずかしいな～、と思いながらふと目がいったのは隣を歩く友人の足元、ギョッ、真っ白な

スリッパ？ホテルから持って来たそうで、車内ではこれでリラックス出来たんだそう。まさか？ はい、これで家まで帰るそうです。

靴底のトラブルは尾瀬での経験が活きました。その後は必ず「靴底手当てキット」を持ち歩いています。そしてそれから1ヶ月後、秋の潤沢ですれ違った人の靴底に目が釘付け。剥がれかかっているじゃない聞けば、この状態では「穂高を諦めなければならぬかもー」、とか。早速「マイキット」をそっくり差し上げました。天気も良いし、あの「キット」できっと、彼はザイテングラードを登りきれたはず。

あ～あ、私も穂高に行きた～い。あの靴底は張り替えましたー。(小野寺美智子)

■ 7月山行：7月18日(日) 大磯のアオバトを見るウォーキング 小雨決行 ㊦

二宮の吾妻山 136mから旧東海道松並木、嶋立庵、大隈邸、大磯照ヶ崎海岸へ、照ヶ崎海岸に海水を飲みに来るアオバトが見られるといいですね。

- ・集合：朝9時30分 JR東海道線二宮駅
- ・持ち物：お弁当、雨具ほか

■ 8月はお休み

■ 9月予定：9月19日(日)：別途お知らせします

あとがき ・各種機関の世論調査で東京オリンピックの開催に60～80%の人が反対又は延期を希望しているにも拘らず菅首相は開催強行に舵を切った。安心安全を口にするが納得する「安心安全」の担保が何ひとつない。・7月末までに高齢者のワクチン接種は安心安全の担保にはならない。6/25時点で2回接種は9%程度、一日100万回打っても7/末までに2000万回100万人がいいところ、3500万にいる65歳以

上の3割程度でとても安心安全どころではない。・感染力が2.5倍のデルタ株(インド株)も脅威だ。・赤木ファイルが公開された。森友文書改竄の経過を500ページ余にわたるメモに残した赤木俊夫さんの無念を晴らすためにも全貌を解明しなくてはならない。その為にも秋の衆院選挙で自公与党を過半数以下にすることがいよいよ重要だ。(M.K)

- ・何よりも平和が第一雲の峰